

# 【事業レポート】おでかけアリオス三和プロジェクト・地域でのコンサート

2019.3.29

ピアニスト・田村緑さんが、2016年から3年間にわたりいわき市三和（みわ）地区を訪れ、三和小学校はじめ、三和のあちこちでコンサートやワークショップを行いながら地域の皆さんと交流してきた「おでかけアリオス・三和プロジェクト」。この3年間のとりくみについて紹介する連載の最終回として、地域でのコンサートのレポートをまとめてお届けします。



※

文：前田優子（企画制作課）

写真：田子和司（※）、いわきアリオス

（これまでの事業レポートはこちらです）

→おでかけアリオス三和プロジェクト・三和小学校での3年間（前編）

→おでかけアリオス三和プロジェクト・三和小学校での3年間（後編）

3月22日（金）、ピアニストの田村緑さん、パーカッション奏者の渡辺亮さんは、「おでかけアリオス 三和プロジェクト」で3年間関わってきた、いわき市立三和小学校の卒業式に出席しました。



12名の門出には、在校生や先生方、保護者の皆さんだけでなく40名もの来賓が招かれ、皆で祝福しました。子どもたちはまさに、地域の宝物なのだなあと実感しました。来賓としてご列席の皆さんのなかには、三和地区内の区長さん方や、三和支所や公民館のスタッフなど、地域のコンサートでお世話になった方々も多くいらっしゃって、再会がとても嬉しかったです。

「おでかけアリオス 三和プロジェクト」の3年間に、三和地区で田村緑さんは、6カ所で計8回のコンサートを行いました。プロジェクトを始めるにあたり、どのようにプランしていくべきかを話し合っていたとき、緑さんから「三和地区内にあるすべてのピアノを弾いてみたい！」という驚きのアイデアが飛び出しました。

広ーい広い三和の中に、一体何台のピアノがあるんだろう？ たしかに気になる。さっそく調査すべく、三和ふれあい館のロビーに「三和ピアノマップ」を掲示し、住民の皆さんからの情報収集を行いました。



※ (ピアノマップ)

そして、前年に閉校になった三和地区内の小・中学校を巡り、ピアノの試弾も。



1回目のコンサートは、2016年10月、三和地区最北、いわき市境の上三坂地区にある公民館で開催しました。この公民館には、約40年前に閉校した旧上三坂小学校に、その昔地区の皆さんがお金を出し合って寄贈したというグランドピアノが保管されていて、それを修復してコンサートを行いました。



※

その時のエピソードはこちらのブログでお読みください。

→【アリオスこぼればなし】「おでかけアリオス 三和プロジェクト」上三坂公民館のPIANO STORY

このコンサートをきっかけに、三和の皆さんと、少しずつご縁が繋がっていきました。食事に立ち寄った上三坂地区のちいさな食堂「きのことマサ」で、お店のなかに娘さんが使っているという電子ピアノがあり、それをお借りしてゲリラライブを行ったことも！



また、翌年（2017年）は、三和保育所と、小規模多機能型居宅介護チロリン村でコンサートを行いました。



（三和保育所）



（チロリン村）

1日のうちに、最年少（1歳）から最年長（80代）のお客さまに出会うことになったこの日。緑さんはお客さまにあわせて演奏曲を変えただけでなく、一緒に歌える曲や、朗読とのコラボレーションなど、アイデア盛りだくさんのプログラムをお届けしました。

3年目（2018年）は、リクエスト形式のコンサート「For YOU」を行いました。「思い出の詰まった曲、人生で出会った大切な曲」を事前に募集し、そこからプログラムを構成し、午前・午後2回公演。リクエストが採用された方には、ご自身が作曲された曲、家族との思い出の曲、小さかった頃を思い出す曲など、それぞれのエピソードを演奏の前にお話しいただきました。



そして、秋は、個人宅を会場にお借りしての「PIANO MAPコンサート」。



※

こちらのブログで詳しくご紹介しております。

→【事業レポート】おでかけアリオス 三和プロジェクト「田村 緑 PIANO MAPコンサート」

さらに、地区の行事に招待されて演奏する機会をいただいたり、お祭りや夕食会に誘われたり、虫を見に連れて行ってもらったり...と、交流はますます深まっていきました。



(三和町の秋恒例のイベント「三和の里フェスティバル」にもお招きいただきました)

この3年間、のべ20回の訪問で、田村緑さんが演奏した曲はなんと60曲。クラシックだけでなく童謡、ポップス、民謡、ジャズ、そしてご自身のオリジナル曲... 様々なジャンルを網羅したプログラムで、幅広い年代の方々と音楽を通じて繋がっていった3年間でした。

「おでかけアリオス・三和プロジェクト」としては今年度で一区切りなのですが、アリオスは今後も、三和の皆さんとのつながりを大切に繋げていけたら、と思っています。